



学校だより 9月号

神奈川県立平塚盲学校

「備えあれば憂いなし」

総括教諭 沖津 有吾

長い夏休みが終わりました。厳しい暑さの中、いろいろなことにチャレンジできたでしょうか。

明日、9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日に起きた関東大震災、また立春から数えて「二百十日」（台風が多い時期で、稲作等に被害をおよぼす頃）が9月1日頃にあたることから、防災への意識を高めようという目的で1960年に「防災の日」として制定されました。

最近、日本各地あるいは世界の様々な地域で大きな地震が数多く起きています。日本国内でも今年に入ってから震度5弱以上の地震が9件、その内1件は震度6強という地震が起きています。2011年3月11日には東日本大震災が起き、広範囲に大きな被害をもたらしました。私はその時も盲学校に勤務していましたが、外に出ると煙突（撤去されましたが）が左右に大きく揺れて、倒れてくるのではないかと怖さを感じました。公共交通機関は停まり、スクールバスで帰宅の途についていた何名かの児童生徒は学校に戻り、保護者のお迎えを待ったり、学校に泊まることになったりと不安な一夜を過ごしていました。私の二人の息子も、水泳部にいた長男は藤沢の秋葉台プールで自主練中に地震が起き、波打つプールから出て、係員の指示で水着一枚、毛布をかけて外に避難させられたと言っていました。次男は学校から駅に向かう途中で地震が起き、電車が停まってしまったため藤沢から茅ヶ崎にある友達の家へと歩いて戻ってきていました。その間、連絡も中々つかず、所在不明の状態で、かなり心配したことを覚えています。

今、学校では防災マニュアルを作成し、様々な状況を想定して対応できるように取り組んでいます。ここ数年の変化としては「東海地震」への対応から「南海トラフ地震」を加えた形で想定されていますし、地震だけでなく、大雨、ゲリラ豪雨、洪水、突風、竜巻などの風水害への対応も考えていくようになってきています。風水害については、毎年必ずどこかで起きていますし、先日の学校運営協議会の際、隣接する横浜ゴムでは、富士山の噴火への対応なども考えるようになってきているとのお話がありました。もはや、いつ何が起きてもおかしくないという状況と考えるおいた方が良いのではと感じています。

今では、以前よりも様々なSNSなどの手段があり、連絡を取り合える可能性が広がっているかもしれませんが、それでも万が一の時のことを考えて、自分ができること、家族としての約束事、支援者への依頼の方法などを、再確認しておくことが必要なのかなと思います。

「備えあれば憂いなし」、防災に関しては、やっておいて無駄に終わることはないと思います。

9月行事予定

- 1日(金) 給食開始 一斉帰省
4日(月) 舎・囲碁教室
5日(火) 幼小プール 舎・第3回避難訓練 部活 舎・リーディングサービス
6日(水) 体重測定(普2)
8日(金) 一斉帰省
11日(月) 第4回模擬試験(普3)
12日(火) 小(2組)プール 幼・小中普(1組)ファミリーコンサート
13日(水) 中高前期期末試験
14日(木) 中高前期期末試験 小(1組)プール
15日(金) 中高前期期末試験 全国珠算競技大会 一斉帰省
19日(火) 視覚障害指導実習(~22) 部活 舎・リーディングサービス
21日(木) 求職登録(理・普) 舎・囲碁教室
22日(金) 一斉帰省
25日(月) 教育実習(~10/6) 舎・お月見
26日(火) 部活
28日(木) 小学部修学旅行(~29) 中普プール 医療器展示会15:00
29日(金) 一斉帰省

10月行事予定

- 2日(月) 舎・不審者対応訓練
3日(火) 部活
4日(水) 歯科検診
6日(金) 内科検診 一斉帰省
7日(土) 関盲卓球大会
10日(火) 部活
11日(水) 精神科相談
13日(金) 一斉帰省
16日(月) あいさつ運動(~19)

